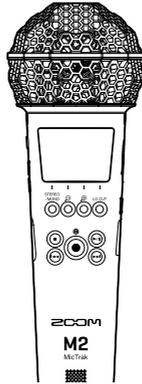


M2

MicTrak



クイックツアー

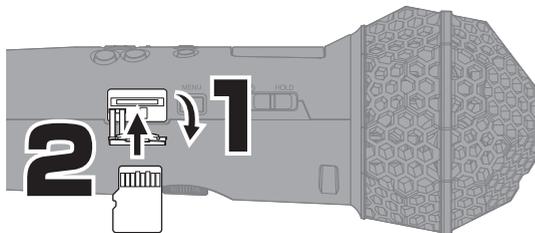
より詳しい説明を記載したオペレーションマニュアルなど、製品に関するドキュメントは以下の Web サイトでご覧いただけます。



www.zoom.jp/docs/m2

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください。

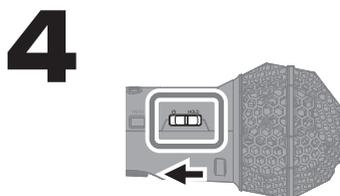
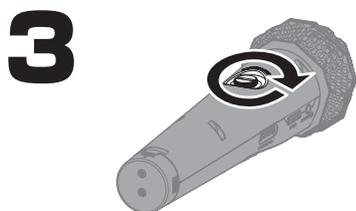
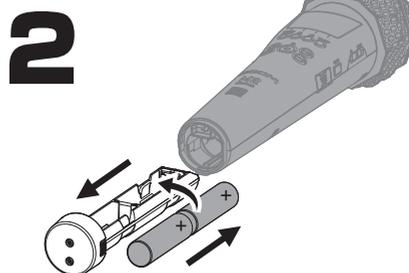
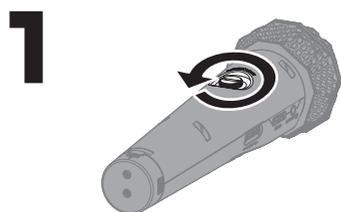
microSD カードをセットする



対応記録メディア
microSDHC : 4 GB ~ 32 GB
microSDXC : 64 GB ~ 1 TB

- microSD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
- microSD カードを取り出すときは、一度スロットの奥に押し込んでから引き抜いてください。

電源を入れる



アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池のいずれかを使用してください。

市販のモバイルバッテリーや専用 AC アダプター（AD-17）を接続して、USB（Type-C）端子から電源を供給することもできます。

初回起動時の設定を行う

言語設定



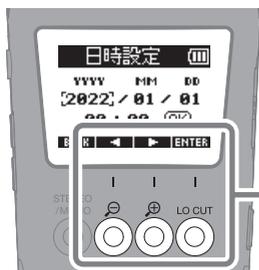
▲ / ▼ で言語を選択して、☑ で決定する

日付形式設定

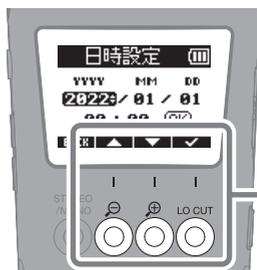


年月日はここで設定した順で録音ファイル名に使用されます。

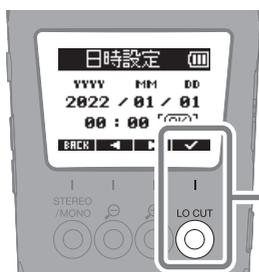
日時設定



設定項目を選択して、ENTER で決定する



値を変更して、☑ で決定する



全ての項目を設定したら、「OK」を選択して、☑ で日時設定を終了する

電池タイプの設定



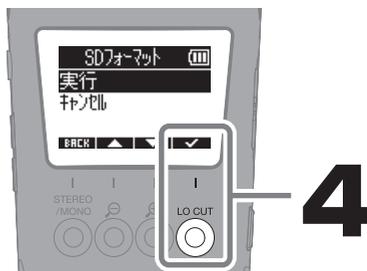
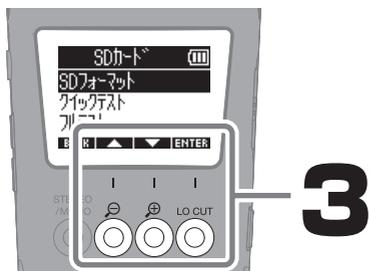
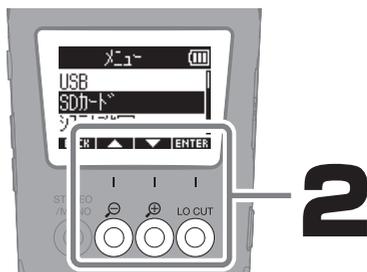
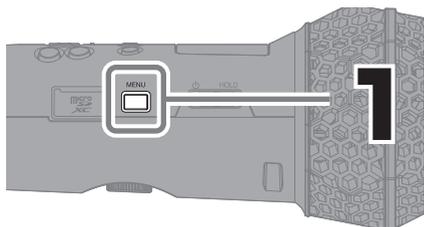
電池残量を正確に表示するために、使用する電池の種類を正しく設定してください。

設定を終了するとホーム画面が表示されます。

長時間 AC アダプターや電池から電源が供給されない状態が続くと、本体に記憶した日時情報がリセットされます。電源起動時に日時の設定画面が表示された場合は、再度設定してください。

microSD カードをフォーマットする

新しく購入した microSD カードや他の機器で使用していた microSD カードは、性能を最大限に発揮するために必ずフォーマットしてください。

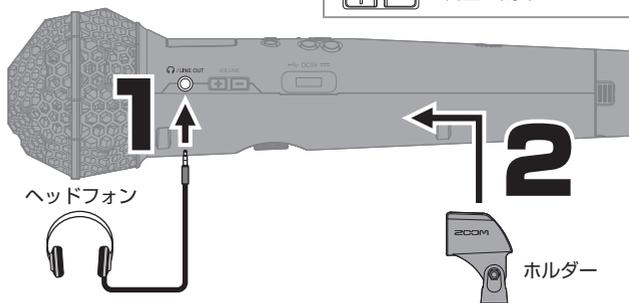


microSD カードをフォーマットすると、それまで保存されていたデータは全て消去されます。

 を押しながら電源を入れることで、microSD カードをフォーマットする画面を表示することもできます。

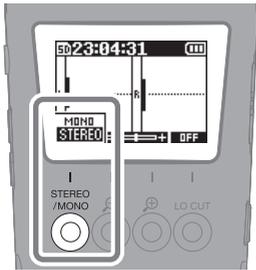
接続する

VOLUME  で音量を調節できます。



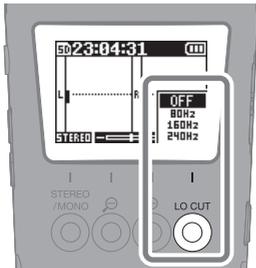
入力と録音の設定をする

■録音ファイルの種類を選択する



STEREO	内蔵 XY マイクの左右の信号を録音したステレオファイルが保存されます。	
MONO	内蔵 XY マイクの左右の信号をミックスして録音したモノラルファイルが保存されます。	

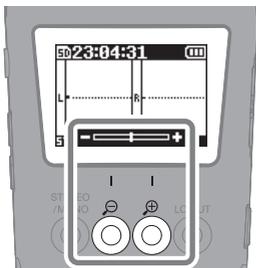
■風雑音やボーカルのポップノイズを低減する



屋外で録音する場合や話者の口に近付けて録音する場合などマイクに直接風が当たる場合は、ウインドスクリーンの使用をおすすめします。



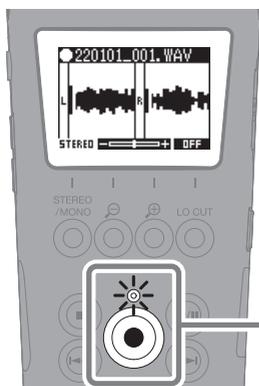
音量表示の拡大率を調節する



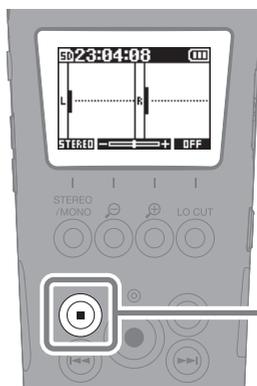
M2 は、どんな音量でも同じ解像度で録音できる 32-bit Float 形式を採用し、録音レベルの調節は不要ですが、再生時は、録音した時の波形画面の上下端が最大音量となります。

録音時の音量表示が小さすぎたり大きすぎたりすると、適切な音量で再生するために編集が必要になる場合があるので、録音時に音量表示を / で適切な大きさにすることをおすすめします。

録音する



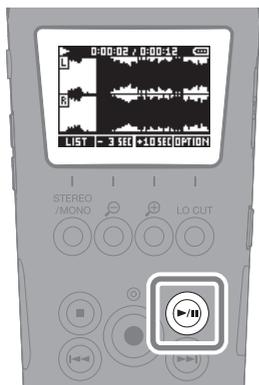
インジケーターが赤色に点灯し、録音が始まります。



録音が終了します。

録音中に  を「HOLD」にスライドすることで、録音中の誤操作を防止することができます。

再生する



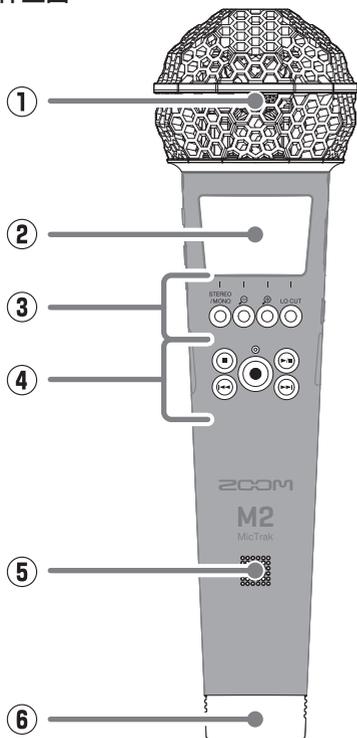
再生が始まります。

再生中の操作

	ファイルリスト画面を表示します。
	ファイルの再生位置を戻したり進めたりします。
	ファイルの削除や書き出し（ビット深度の変換、ノーマライズ）などができます。
	再生を停止してホーム画面に戻ります。
	一時停止 / 再生を再開します。
	前 / 次のファイルを選択します。マークがある場合はマークの位置に移動します。長押しすると、早戻し / 早送りします。
	現在の再生位置にマークを追加 / 削除します。

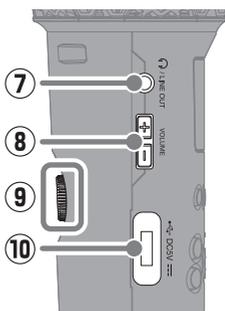
各部の役割

■本体正面



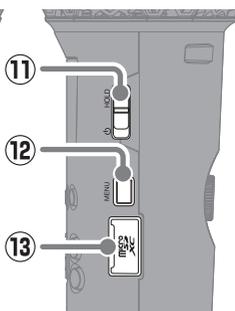
- ① **内蔵 XY マイク**
指向性マイクを交差させて配置したステレオマイクです。自然な奥行きと広がりをもった立体的なサウンドで録音できます。
- ② **ディスプレイ**
各種情報を表示します。
- ③ **操作キー**
ホーム画面では、録音される音声に関わる設定を変更します。ホーム画面以外では、ディスプレイ下部にアイコンで表示されている操作をします。
- ④ **録音 / 再生キー**
録音や再生の動作に関わる操作をします。
- ⑤ **スピーカー**
ファイルを再生すると、ここから音声が出力されます。
- ⑥ **電池ケース**
電池を入れます。

■本体左側面



- ⑦ **PHONE / LINE OUT 端子**
ヘッドフォンや外部機器に音声を出力します。
- ⑧ **VOLUME キー**
スピーカーまたはヘッドフォンから出力される音量を調節します。
- ⑨ **電池ケース固定ネジ**
電池ケースの取り付け、取り外しを行うときに使用します。
- ⑩ **USB 端子 (Type-C)**
パソコンやスマートフォン / タブレットと接続して、SD カードリーダー、USB マイクとして使用できます。USB バスパワー動作に対応しています。データ転送に対応した USB ケーブルを使用してください。
- ⑪ **電源 / HOLD スイッチ**
電源の ON / OFF、またはキー操作を無効にします。
- ⑫ **MENU キー**
メニュー画面を表示します。
- ⑬ **microSD カードスロット**
microSD カードを挿入します。

■本体右側面



その他の機能

サンプルレート	録音するファイルのサンプルレートを設定します。
プリ録音	入力信号を常に一定時間蓄えておくことにより、録音開始した時点からさかのぼって録音ができます。
録音開始トーン	録音開始時に出力端子からトーン信号を鳴らすことができます。 トーン信号は録音ファイルにも書き込まれます。
再生音量の自動調整	録音された音が歪まない範囲で音量を揃えて再生します。
録音ファイルのエクスポート	録音ファイルをノーマライズし、32-bit Float WAV 形式非対応機器向けに変換して書き出すことができます。
USB マイク	M2 を USB マイクとして使用できます。USB マイクとして使用中も M2 のマイクの音を microSD カードに録音することができます。
USB ファイル転送	パソコンと接続して、microSD カード内のデータの確認やコピーができます。

故障かなと思う前に

音が出ない、もしくは非常に小さい

- 音量表示の拡大率を確認してください。
- ヘッドフォンの接続を確認してください。
- M2 のヘッドフォンボリュームが下がっていないか確認してください。

録音できない

- microSD カードに空き容量があることを確認してください。
- カードスロットに microSD カードが正しくセットされていることを確認してください。

録音した音声が途切れる

- microSD カードを M2 でフォーマットしてください。
- microSD カードのテストをしてください。
詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。
- 動作確認済み microSD カードの使用をおすすめします。
動作確認済み microSD カードは ZOOM の WEB サイト (zoomcorp.com) で確認してください。

パソコンに接続しても認識されない

- データ転送に対応した USB ケーブルを使用してください。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

ZOOM®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
zoomcorp.com